

いちむら小児科医院

苫小牧市ときわ町5丁目18番5号 ☎(0144)67-1111



親子ともどもリラックスして受診

保護者の緊張をときほぐし親子ともどもリラックスした状態で診療を重視。市村一義院長は「子供のペースに合わせて対等な気持ちで診察に臨む。保護者の訴える病状にしっかりと耳を傾けて多くの情報を基に診療することを心がけている」と話す。

道内でも数少ない日本内分沁学会内分沁代謝科(小児科)専門医として、低身長やホルモン分沁に関わる疾患など、ごく少量の血液で感染症などを判別する医療器材を駆使。成長過程でみられる特異な症例の診療を進めているほか、インフルエンザやポリオ、はしかなどの予防接種で



明るい雰囲気待合室

子供の予防医療を強化。特に10-12月の流行期に合わせて、毎週水曜午後には期間限定の予防接種外来を設ける。開院当初の患者さんが母親となって来院することもあり、アレルギー体質などを診察する際には過去の診療経歴が役立つことも。日本体育協会公認のスポーツドクターでもある市村院長は、各種スポーツ大会に参加。競技者のスポーツ障害相談にも対応。「地域に根ざした医療を提供するとともに、かかりつけ医として保護者と一緒になって子供の健やかな成長を見守っていききたい」と語った。

1974年弘前大学医学部専門課程卒業。慶応義塾大学医学部小児科学教室に入局。同教室助手、国立東京第2病院(現・国立東京医療センター)、日本内分沁学会内分沁代謝科(小児科)専門医、埼玉中央病院小児科医長を経て87年に開業。医学博士。

診療時間: 平 日 / 8:45~12:30
14:00~18:00
木 / 8:45~11:30
15:00~17:00
土 / 8:45~13:00

休診日: 日曜・祝日
*平成22年より診療時間変更予定です。



いちむら小児科医院
院長 市村 一義

小児科・アレルギー科・内科

医療法人社団 健弘会

やまざきこども医院

苫小牧市大成町2丁目3番1号 ☎(0144)75-1133



地域に密着した小児科疾患の診療を展開

1997年4月の開院。市道三条通り沿いの医院は、建物の色彩から「オレンジ色の医院」と呼ばれ、患者や地域住民から親しまれている。開院以来、「子供の味方」をモットーに、地域に密着した小児科疾患の診療を展開。気管支ぜんそくやアレルギー性皮膚炎などのアレルギー疾患の患者も多く来院している。「小児に多くみられる症状、疾患を診療しながら、重大な疾患の早期発見を心がけています」と山崎院長。

乳幼児の呼吸器に感染す



モットーは「子供の味方」。いつも優しいスタッフ

るRSウイルスの研究で医学博士を取得。小児の呼吸器感染症の専門医として、一人ひとりに時間をかけ、丁寧な説明を心がける。看護職員の技術も高く、特に点滴など静脈処置の技術は優れているという。予防接種と乳児健診にも力を入れており、火曜、金曜日に専用の時間帯を設けている。

ワクチンの接種期限が迫っている子には電話で知らせるなど「麻しん撲滅」を目指す。

1983年東海大学医学部卒。札幌医科大学小児科入局。旭川赤十字病院小児科、苫小牧市立病院小児科勤務などを経て、1997年開業。日本小児科学会小児科専門医。医学博士。

診療時間: 月・火・水・金 / 8:45~12:00
14:30~17:30
木・土 / 8:45~12:00
予防接種: 火・金 / 13:30~14:30
乳児健診: 水 / 13:30~14:30
休診日: 日曜・祝日



やまざきこども医院
院長 山崎 弘文